

Open Com

地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院

大阪厚生年金病院 <http://www.okn.gr.jp/>

●大阪府がん診療拠点病院
●につけい子育て支援大賞受賞



大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者



「働きやすい病院」認定病院(第1号)

●女性のチャレンジ支援賞(内閣府)受賞

オープン・コム

No. 31 2013.9

開放型病床をもつ開かれた病院として、
地域の先生方や住民の皆様とコミュニケーションを図り、
心かよう安心の医療を目指します。

大阪ボイスセンターのご案内	2～3
部長紹介	4～5
後期臨床研修医の紹介	6
病棟薬剤業務の紹介	7

トピックス	8～9
チーム医療シンポジウム	
ケア連携の会	
母子医療センター懇談会	

かかりつけ医さんこんにちは	10～11
福島民主診療所	
田中耳鼻咽喉科	
西島診療所	
浜田医院	

患者情報室『ラヴェンダー』だより ...	12～13
患者相談室 Open Win/d より	14
当病院の活動内容を掲載している記事 ...	15～17
各種教室・公開講座・院内の公開講座 ...	18～19

大阪ボイスセンターのご案内

「ことば」は私たち人間だけに与えられた素晴らしい能力です。そしてその「ことば」を形成するのは「こえ」であり、美しい「こえ」はやさしい「ことば」を生み出します。

また「ことば」は単なるコミュニケーションの手段だけでなく、歌手や役者、アナウンサーなど「こえ」を必須とする職業や、コーラスやカラオケなど趣味や娯楽の分野でも重要な役割を担います。「こえ」や「ことば」は、よりクオリティーの高い社会生活を営むために、きわめて重要なアイテムの一つと言えます。

このような社会的なニーズのもとに2004年に大阪回生病院（淀川区）に設立した大阪ボイスセンターを、この度2013年4月より大阪厚生年金病院耳鼻咽喉科に移設させて頂く事になりました。

前施設での過去9年間の音声外科手術の実績は、喉頭微細手術（Microlaryngoscopy）1387件、喉頭枠組み手術152件で、全国のDPC（診断群分類）対象病院の統計（2008年）における症例数で、声帯ポリープが全国2位、声帯麻痺が全国1位となっております。

また、声帯や喉頭に器質的な異常を認めない「機能性音声障害」に対しても、専任の言語聴覚士（ST）による音声治療をおこないます。（別項参照）

この度、耳鼻咽喉科部長（音声担当）として大阪厚生年金病院に赴任させて頂き、より高度な、より良い医療を患者さまに提供できる、“新生・大阪ボイスセンター”を発展させたいと考えております。誠心誠意尽力して参りたいと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

（耳鼻咽喉科部長（音声担当） 望月 隆一）

音声治療について

これまでの発声の習慣や方法を変えることにより、「こえ」の改善を図るための治療法です。衛生指導や訓練を通し、「望ましい発声」を「いつでもしている発声」へと変容させることを目的としています。

対象は、機能性発声障害、過緊張性発声障害、声帯結節、失声症など。手術が第一選択とされる一側性声帯麻痺の患者様に対しても、試験的に音声治療を行っています。

（言語聴覚士（ST） 齋藤 真希子）

大阪ボイスセンターのロゴマーク

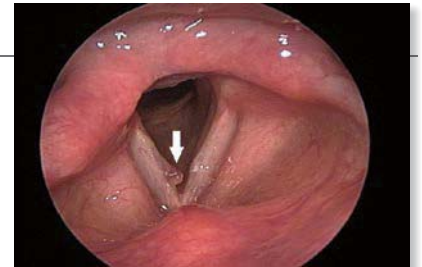


大阪の“O”と VOICE の“V”をモチーフにしたマークです。“V”は声帯の内視鏡像をハート型にデザインし、美しい「こえ」とやさしい「ことば」をイメージしています。

声帯ポリープ

右声帯に赤いポリープ（矢印）を認めます。

喉頭微細手術（Microlaryngoscopy）の良い適応となります。全身麻酔下に顕微鏡を使用して行いますので、正確で安全な手術ができ、成功率は限りなく100%に近いと言えます。



喉頭枠組み手術（術後 CT）

甲状軟骨左側に開窓し人工骨（○印）を挿入して、左声帯を正中に寄せます。声帯麻痺の音声改善・誤嚥防止手術として適応されます。



受診のご案内

対象	他の医療機関等よりご紹介の患者さま 音声障害（声の異常）・嚥下障害（のみ込みの異常）など 職業的に「音声」を使用されるプロの方々の治療も行います
診療内容	検査 ・喉頭ファイバースコープ ・ストロボスコーピー ・音響分析検査 ・発声機能検査 ・嚥下機能検査 治療 ・音声外科手術 喉頭微細手術（例：声帯ポリープ切除術） 喉頭枠組み手術（例：声帯麻痺に対する音声改善手術） ・音声治療（言語聴覚士による発声指導・訓練）
診察日	望月部長（音声担当）の診察日 火・木・金曜日 9：00～11：30
申し込み方法	予約制 患者さま：他の医療機関の先生から紹介頂いて下さい。 先生方：地域医療連絡室のご連絡の上、ご予約ください。
予約窓口	地域医療連絡室 TEL（06）6441-5463（かかりつけ医専用）
診療内容についての 問い合わせ窓口	耳鼻咽喉科外来 TEL（06）6441-5451（内線 2282） 時間：平日 9：00～17：00

部長紹介

当院気鋭の部長をご紹介します（氏名の五十音順）

石橋 里江子 内科（内分泌・人間ドック担当）



経歴（略歴）

1990年 島根大学医学部卒業、同第一内科
1991年 大阪赤十字病院内科
1999年 京都大学大学院医学研究科博士課程修了
1999年 天理よろづ相談所病院内分泌内科
2006年 大阪厚生年金病院 内科医長
2013年より現職

専門・研究分野

糖尿病、内分泌疾患、
禁煙学

資格、等

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本内分泌学会専門医・指導医・評議員
日本糖尿病学会専門医・指導医
日本腎臓学会腎臓専門医／日本高血圧学会指導医／医学博士

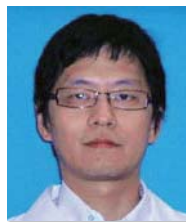
診療にあたっての信条、モットー

ひとりひとりの患者さんに疾患についてどのようなことを聞いていて、どのようなことをご存じなのかを尋ねることから始めています。与えたい援助ではなく、求められている援助ができるよう、一緒に問題を解決できるパートナーでありたいと思っています。
この手法を禁煙外来にも応用し、卒煙をお手伝いしています。

メッセージ

糖尿病のほか、パセドウ病、橋本病などの甲状腺疾患をはじめ視床下部・下垂体、副甲状腺、副腎などの内分泌疾患を専門としています。内分泌疾患の診断の遅延は、ときに生命にかかわり深刻な標的臓器障害をきたすことを心して診療にあたっています。成人下垂体機能低下症に対する成長ホルモン補充療法も取り扱っています。お気軽にご相談ください。

黒柳 裕一 小児科部長（NICU 担当）



経歴（略歴）

1997年 関西医科大学卒業
1997年 関西医科大学小児科学教室入局
1998年 関西医科大学附属洛西ニュータウン病院 小児科医員
2000年 関西医科大学附属滝井病院 小児科医員
2002年 ボストン大学医学部 ヒト遺伝子センター
2004年 ジョージア州立医科大学 分子遺伝子治療センター
2006年 関西医科大学附属枚方病院 小児科助教
2012年 関西医科大学附属枚方病院 小児科講師
2012年より現職

専門・研究分野

新生児科、
小児内分泌科

資格、等

日本小児科学会専門医
日本周産期・新生児医学会専門医
新生児蘇生講習インストラクター

診療にあたっての信条、モットー

NICUに入院した新生児に対して、救命処置や適切な治療を行うのはもちろんのこと、新生児のみならず母親にも優しい医療を提供し、NICUスタッフ全員で後遺症なき新生児の生存と健全でより良い母児関係の確立を目指しています。

メッセージ

新生児入院管理できる在胎週数を35週から30～32週程度まで引き下げました。また新生児搬送も可能な限り引き受けます。今後もなお一層周辺地域を中心とした周産期医療に寄与したいと考えています。

中村 匡宏 プライマリケア診療部（感染症担当）



経歴（略歴）

1995年 三重大学医学部医学科卒業
1995年 聖路加国際病院 内科
1998年 社会保険中京病院 呼吸器内科
1999年 静岡済生会総合病院 呼吸器内科
2004年 名古屋大学大学院医学系研究科博士課程修了
2004年 聖路加国際病院 感染症科
2006年 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
2007年 大阪市立総合医療センター 感染症センター
2011年 手稲深仁会病院 総合内科・感染症科
2012年 大阪厚生年金病院 プライマリケア診療部医長
2013年より現職

専門・研究分野

感染症全般

資格、等

日本内科学会認定内科医
日本感染症学会専門医
インфекションコントロールドクター

診療にあたっての信条、モットー

かつて先輩医師から医者には3つのHが必要だと言われました。すなわちHead, Hand, Heartだと。幅広い知識、確かな技術、思いやりの心を持った医師を目指して日々努力しています

メッセージ

感染症はどこの臓器でも起こり得る疾患です。肺炎、腎盂腎炎、腸炎などの一般的な感染症から免疫不全患者の感染症、HIV、輸入感染症などの特殊な感染症まで感染症全般を幅広く扱っています。院内では各診療科からコンサルテーションを受けて主治医の先生と共に感染症患者の診療に当たっています。
また感染制御チームの一員として、院内感染の予防活動も行っています。特に抗菌薬が効きにくい耐性菌の出現や拡散を防ぐために抗菌薬の適正使用には力を入れています。

二宮 晴夫 リハビリテーション科部長



経歴（略歴）

1982年 大阪医科大学卒業
1982年 大阪大学整形外科教室入局
関連病院勤務を経て、
1997年 那智勝浦町立温泉病院副院長
2006年 財団法人新宮病院院長
2013年より現職

専門・研究分野

地域リハビリテーション
温泉療法
慢性疼痛疾患における漢方治療
高齢者疾患

資格、等

日本リハビリテーション医学会認定臨床医
日本整形外科学会専門医／日本整形外科学会認定リウマチ医
日本リウマチ財団リウマチ登録医／日本温泉気候物理医学会温泉療法医
日本医師会認定産業医／義肢装具適合判定医講習修了
介護支援専門員指導者研修講習修了／認知症サポート医養成研修講習修了
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会講習修了

診療にあたっての信条、モットー

病院を受診される方は、多かれ少なかれ多少の不安感をもたれております。（特に手術を受けられる方はそうです）病院を頼りにしてやってこられる患者さんに対して健康とともに元気を持って帰っていただくようなリハビリテーション科をモットーに仕事をしております

メッセージ

リハビリテーション科を受診される方に対して、身体機能の障害の訓練だけではなく、漢方治療を併用していきたいと考えています。

福田 綾 産婦人科（産科担当）



経歴（略歴）

1998年 福井大学医学部卒業
1998年 大阪大学医学部付属病院産婦人科
1999年 ペルランド総合病院 産婦人科
2001年 市立豊中病院 産婦人科
2002年 スウェーデン国立ヨテボリ大学生理学教室に留学
2004年 スウェーデン国立ヨテボリ大学
Arvid Carlson Research に留学
2006年 大阪厚生年金病院 産婦人科医長
2013年より現職

専門・研究分野

周産期医学
婦人科全般

資格、等

日本産科婦人科学会専門医／母体保護法指定医

診療にあたっての信条、モットー

「ここで出産してよかった。また次もお願いします！」「ここで手術してよかった。」と言っていただけるような、産婦人科を目指しています。そのために、まず周囲の同僚やスタッフに支えられている事を自覚し、いつも感謝の気持ちを忘れないように努めています。また、患者様の病状だけでなく、それぞれのバックグラウンドも考慮し、その患者様にとって何が適した医療なのかを、常に考え診療したいと思っています。

メッセージ

産婦人科は救急医療であり高いリスクを伴います。そんな中、産婦人科医師を目指してくれた若い先生達を、責任を持って育成していきたいと思っています。私自身、子育てをしながら働く中で、産婦人科医を続ける困難に向き合うこともしばしばあります。近年、産婦人科医が不足し、女性医師も増加している中、出産・育児で離職する先生方が少しでも減り、産婦人科医療を安全に維持できる環境作りができるよう、尽力したいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

向井 克容 整形外科部長（内視鏡脊椎外科担当）



経歴（略歴）

1992年 大阪大学医学部卒業
1992年 大阪大学医学部整形外科
1996年 星ヶ丘厚生年金病院
1998年 姫路赤十字病院
2001年 大阪大学大学院医学研究科器管制御外科学助手
2007年 大阪厚生年金病院 整形外科医長
2011年より現職

専門・研究分野

脊椎外科、
内視鏡脊椎外科

資格、等

医学博士
日本整形外科学会専門医
日本脊椎脊髄病学会指導医
日本整形外科学会認定脊椎内視鏡下手術技術認定医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医

診療にあたっての信条、モットー

正確な診断と的確な手術治療をより低侵襲に

メッセージ

内視鏡を駆使した低侵襲な腰椎椎間板ヘルニア手術はもちろんのこと、脊椎固定術などの大きな手術でも、できるだけ低侵襲となるように様々な努力・工夫をおこなっています。また、安全かつ正確な手術を短時間で行うことを常に心がけています。術後に痛みがとれた患者さんの笑顔をみるのが何よりの励みです。

望月 隆一 耳鼻いんこう科（音声担当）



経歴（略歴）

1991年 兵庫医科大学医学部卒業
1993年 国立大阪病院耳鼻咽喉科
1999年 大阪回生病院耳鼻咽喉科
2001年 大阪回生病院耳鼻咽喉科部長
2004年 同上 大阪ボイスセンター部長兼務
2013年より現職

専門・研究分野

喉頭疾患、音声言語医学、音声外科手術

資格、等

日本耳鼻咽喉科学会専門医／日本気管食道科学会専門医
日本音声言語医学会評議員

診療にあたっての信条、モットー

耳鼻咽喉科は、人間の五感のうち3種類を扱う診療科であり、私が専門とする音声はコミュニケーションの出力として最も重要な機能です。そのため、当科を受診される患者さまのニーズはその方の年齢、性別はもちろんのこと、生活スタイル、社会性によって様々です。患者さまそれぞれのニーズに応えるべく、そのお話を傾聴し、自身の経験と知識を駆使し、最良の結果を導きだすことを心情として診療したいと考えております。

メッセージ

前任地で開設した大阪ボイスセンターとともに、本年4月から大阪厚生年金病院でお世話になっております。声帯ポリープや声帯麻痺などの声の病気【音声障害】を専門に診療しております。大阪ボイスセンター設立後9年間の経験を生かし、より高度な医療水準を誇る同院で、更なる実績を果たすべく精進してまいり所存です。音声外科手術以外にも、専属の言語聴覚士と連携した音声治療（音声訓練）も駆使し、幅広い診療を行っていきます。一般の患者さまはもちろん、職業的に音声を使用される、いわゆる professional voice user の方に対しても、その特殊性をよく理解し、よいパフォーマンスができるような対応を行ってまいります。大阪ボイスセンターの紹介も本誌に掲載させて頂きましたので、併せてご覧頂けますと幸いです。

2013年度 大阪厚生年金病院 後期臨床研修医の紹介



■ 日下部 瑛 医師
(神戸大学出身)
内科



■ 曽我 彩子 医師
(大阪市立大学出身)
内科



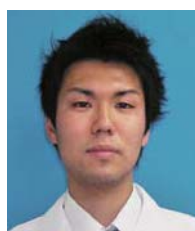
■ 部坂 篤 医師
(大阪大学出身)
内科



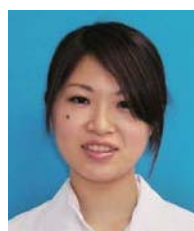
■ 山口 慧 医師
(大阪大学出身)
内科



■ 深阪 勲 医師
(福井大学出身)
神経内科



■ 乾 洋勉 医師
(大阪医科大学出身)
循環器内科



■ 田端 智香 医師
(大阪市立大学出身)
循環器内科



■ 宮本 真由子 医師
(和歌山県立医科大学出身)
産婦人科



■ 宋 智亨 医師
(兵庫医科大学出身)
外科



■ 樋渡 勝平 医師
(和歌山県立医科大学出身)
外科



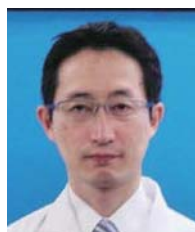
■ 大井 香 医師
(大阪大学出身)
乳腺・内分泌外科



■ 山田 昌稔 医師
(近畿大学出身)
脳神経外科



■ 洪里 千恵 医師
(帝京大学出身)
眼科



■ 佐野 博昭 医師
(奈良県立医科大学出身)
麻酔科



■ 吉村 季恵 医師
(奈良県立医科大学出身)
麻酔科

全病棟に病棟薬剤師を配置しました

以前より、薬剤師が入院患者さんのもとへ伺い、お薬の説明や副作用症状の確認を行い薬物治療の支援を行って来ました。

2013年4月より、全病棟に病棟薬剤師を配置し、入院中の患者さんに対してさらに適切な薬物治療が行えるように、薬物治療の支援体制を整えました。



病棟薬剤師は 次のような業務を行っています

① お薬の内服状況の確認

入院時に患者さんと面談を行い、ご持参されたお薬の服用状況や過去に使用したお薬の情報、副作用経験の有無などを確認します。

また、当院で扱っていないお薬については医師へ代替薬の提案を行っています。

② 処方されたお薬が適切であるかの確認

処方された内服薬や注射薬の用法・用量や使用方法が適切であるかの確認を行ない、数種類のお薬が処方されるときは相互作用の確認を行ないます。

必要に応じて処方の提案をします。

③ 開始前に説明が必要なお薬についてのサポート

特に使用開始前に説明が必要なお薬があるときは事前に患者さんのところへ伺い、十分な説明・指導を行います。



このほかにも、薬剤部では、医薬品に関する情報の収集を行い、医師をはじめとする医療スタッフへの情報提供を行っています。

また、抗がん剤の無菌調製や特定のお薬に対する血中濃度の結果を評価し、医薬品を安全に使っていただくための支援を行っています。

お薬についてご不明な点や疑問がありましたら、病棟薬剤師にご相談ください。



「チーム医療シンポジウム」開催報告

当院は、厚生労働省より「平成23年度チーム医療実証事業」実施施設の指定に引き続き、平成24年度には、「チーム医療普及推進事業」実施施設として指定を受けました。事業の一環として平成25年2月23日ハービスHALLで、院内で活動しているチームのうち6チーム（褥瘡対策チーム・フットケアチーム・外来がん化学療法チーム・感染制御チーム・栄養サポートチーム・緩和ケアチーム）が協力して、「チーム医療シンポジウム」を開催いたしました。シンポジウムでは、山崎病院長が開会の挨拶を行い、各チームが実践報告を行いました。さらに、パネルディスカッションでは、地域の医療機関などでチーム医療に関心のある120名が参加してくださり、活発な意見交換を行うことができました。今後も院内だけでなく、地域全体でタックを組んでチーム医療を提供できるように検討を深めていきたいと思っています。

（看護師長 土岐 昌世）



「ケア連携の会」開催報告

当院での治療が終わった患者さんが、必ず帰るであろう地域や施設との連携を深め、ケアの継続や連携の質の向上について共に考えたいと思い、3月23日に「大阪厚生年金病院ケア連携の会」を開催しました。当日は、37施設53名の方と当院職員も合わせると72名の参加があり、まさに顔の見える連携の会となりました。

第1回目は“褥瘡ケアの地域連携”をテーマに皮膚科医師・皮膚排泄ケア認定看護師・特別養護老人ホーム

看護師らが、実際に連携した一症例の報告をしました。患者さんの状況や環境の変化に対して、地域と病院がどのように情報共有し目標や計画を修正していけばよいか活発な意見交換が行われました。

今後も「繋げようケアの力！広げようケアの輪！高めようケアの質！」を合言葉に、連携を深めていける大きな一歩となりました。

（看護師長 今井 康乃）



「大阪厚生年金病院 母子医療センター懇談会」開催報告

平成25年7月4日(木) リーガロイヤルホテルにおいて、「大阪厚生年金病院 母子医療センター懇談会」が開催されました。

平成16年に産科オープンシステムがスタートし10年目となります。平成19年には、地域周産期医療の向上をめざし「母子医療センター」が開設され、多くの先生方にご協力していただいております。

清野佳紀 名誉院長の挨拶の後、小川晴幾 産婦人科部長(母子医療副センター長)より現状報告、福田綾 産科担当部長より「産科オープンシステムについて」、黒柳裕一 小児科 NICU 担当部長より「2013 新生児集中治療室 NICU 活動報告」を行いました。

次に、山崎芳郎 院長より新病院の建替え工事、地域医療機能推進機構への移行に伴い、先生方へのご協力をお

願いたしました。

大阪新生児相互援助システム(NMCS) 会長 船戸正久先生による挨拶、乾杯により和やかに懇談会が始まり、その後、千船病院 副院長 吉井 勝彦先生、北中レディースクリニック 北中孝司先生より貴重なお言葉をいただくことができました。

懇談会では、周産期医療の大学関係者、産科オープンシステム登録医・登録助産師及び小児連携医療機関の先生方が当院職員と盛んに意見交換を行い、田川哲三 副院長(母子医療センター長)の挨拶をもって閉会しました。

これからも地域の医療機関と連携し、よりよい医療を提供できるよう努力していきたいと思っております。

今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

(地域医療連絡室 北山 幸子)



船戸 正久先生



吉井 勝彦先生



北中 孝司先生

病院の理念・基本方針・患者さんの権利と責務

(1) 病院の理念

1. 高度で安全な医療を目指します。
2. 患者さんの立場に立って、心温まるケアに専念します。
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します。
4. 職員全員が働きやすい職場づくりをすすめます。

(2) 地域医療支援病院としての基本方針

1. 小児救急を含む24時間救急医療をおこなっています。
2. 母子医療センターとして妊娠・分娩と新生児・未熟児の医療に24時間体制で迅速かつ確実に対応します。
3. 各部位のがんに対して、内科的・外科的に積極的な集学的治療をおこなっています。
4. 内視鏡、内視鏡下手術などを用いた低侵襲かつ高度な治療とともに外来化学療法や緩和医療チームにも力を入れています。
5. 慢性疾患に対しても集学的な治療体制を整え、患者教育にも熱心です。
6. 脊椎・四肢・視覚・聴覚・皮膚等の疾患に対して、専門性の高い手術的治療を麻酔科、ICU、放射線科等とチームを組んでおこなっています。
7. 麻痺・痛み等に対して、各診療科が協力して治療にあたります。
8. 生活習慣病の予防やがんの早期発見についても各診療科が協力して診療にあたります。

9. 各診療科での診療は地域や関連する診療所や病院との連携を大切におこなっています。
10. 地域の医療従事者と合同で医療の質の向上を目的とした研修会等をおこなっています。
11. 職員の子育て支援にも積極的に取り組んでいます。

(3) 患者さんの権利と責務

1. 患者さんは、誰でも当院でおこないうる最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 病名と治療方法など十分な説明を聞いた上で、患者さんは、自分の意思で治療を受け入れるかどうかを決めることができます。
3. 治療の途中でも、患者さんは、他の医師に意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
4. 患者さんの病名その他の個人情報保護されます。又、病名や検査結果など必要とする情報は患者さんによる適切な手続き後にいつでも求めることができます。
5. 全ての患者さんが適切な医療を受けていただく為に、当院の規定・規則を守り他の患者さんの診療に支障となる迷惑行為を慎み、医療者と協力して療養する責務があります。

看護部の理念

患者さんの生命の尊厳と権利を尊重し、
生活の質を高める看護を実践するとともに、
人を癒し、人を活かす職場づくりに努めます。

かかりつけ医さん

こんにちは

福島民主診療所

院長 大下 朋成

〒553-0003 大阪市福島区福島8-5-11

TEL 06-6458-9500

FAX 06-6458-9753

ホームページ http://www.osaka-fukushima.coop/staticpages/index.php/fukushima_minsyu_clinic_time_access

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~16:00	定期往診	予防接種 外来	—	乳幼児 後期健診 (第2木曜日)	定期往診	—
16:00~18:30	○	○	○	○	○	—



診療科目

内科 / 小児科 /
消化器科

往診

有

休診日

土曜午後・日曜・祝日

駐車場

無

アクセス ■ JR環状線「福島」駅下車、徒歩10分
■ 阪神本線「野田」駅下車、徒歩10分



大下先生（前列左）とスタッフの皆さん



当診は1970年の開設から現在まで、地域の皆様に支えられ、小児科・内科一般・在宅医療・通所リハビリ等々を続けさせて頂いております診療所です。乳幼児から高齢者まで安心・安全の医療・介護の提供を目指しております。

大阪厚生年金病院は日頃より、地域医療支援病院としての役割を発揮して頂いており、当診療所も救急や入院、検査等で大変お世話になっております。

今後ともご指導・ご鞭撻賜りますよう宜しくお願い致します。

田中耳鼻咽喉科

院長 田中 亜矢樹

〒553-0006 大阪市福島区吉野3-21-26 メゾン西梅田1階

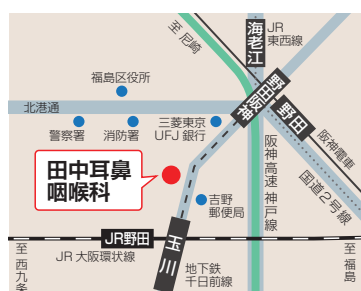
TEL 06-4804-8741

FAX 06-4804-8751

ホームページ <http://www.tanaka-jibika.jp/>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30~12:30	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	—	○	○	◎

◎土曜日の午後は午後2時~午後5時



診療科目

耳鼻咽喉科 /
アレルギー科

往診

無

休診日

水曜午後・日曜・祝日

駐車場

無

アクセス ■ JR環状線「野田」駅下車、北へ徒歩4分
■ 地下鉄千日前線「玉川」駅下車4番出口、北へ徒歩3分



田中先生（中央）とスタッフの皆さん



2004年12月にご縁あって福島区吉野の地で開院いたしました。大阪厚生年金病院は耳鼻咽喉科の先生方にお世話になることがやはり最も多いですが、小児科、内科など他科の先生方にも境界領域疾患や緊急性を要する疾患でご紹介させていただくことも多々あります。地域の基幹病院と密に連携をとらせていただくのは心強い限りです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

病診連携で日頃お世話になっている
かかりつけ医さんをご紹介します。

西島診療所

院長 田村 耕一郎

〒554-0051 大阪市此花区西島 4-2-3

TEL 06-6461-4459

FAX 06-6468-6367

ホームページ <http://www.k-hakuaikai.jp/torishima/>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
18:00~20:00	—	○	○	○	○	—



アクセス ■ JR「西九条」駅より市バス「西島住宅前」下車すぐ

診療科目

内科 / 小児科 /
皮膚科 / 放射線科

往診

有

休診日

月曜午後・土曜午後・
日曜・祝日

駐車場

無



田村先生（後列右から2番目）と
スタッフの皆さん



当診療所は、1956年6月に医療法人此花博愛会の3番目の診療所として現在地に新規開設され、西島・島屋地域を中心に地域医療に取り組んできました。18年前の阪神大震災での倒壊被害時も地域内の民家を仮診療所として途切れることなく診療活動を継続し、再建された現診療所における日常診療に受け継がれています。

平日午後、当診療所2階で、ころばん体操、卓球サークル、絵画教室、療養相談を開催し、オープン・ドアの診療所として地域住民の方には診療以外の分野でも利用して頂いてます。

浜田医院

院長 浜田 廉夫

〒554-0012 大阪市此花区西九条 3-13-5

TEL 06-6461-2471

FAX 06-6461-1777

ホームページ <http://www.hamadain.co.jp/>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30~12:30	○	○	○	○	○	○
17:00~19:00	○	○	○	○	○	—



アクセス ■ JR環状線「西九条」駅下車、徒歩約1分

診療科目

内科 / 循環器科 /
胃腸科

往診

有

休診日

土曜午後・日曜・祝日

駐車場

有



浜田 廉夫先生



浜田 千雅先生



当医院は、三代にわたり此花区にて地域にとけ込める「かかりつけ医」をモットーに、親切で信頼の於ける大阪厚生年金病院と、より密な連携をとることで患者様の安全と安心を考えております。

一般内科、胃腸科、循環器科の知識を持って、医師 浜田廉夫、医師 浜田千雅、看護師2名、クラーク4名が皆様のお役に立ちたいと思っております。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。

「ラヴェンダー」だより

ラヴェンダーは患者さん向け図書室です

医療書、闘病記、一般娯楽書などの本や雑誌があります。

- 入院中に本を読みたい → 入院患者さんには貸出いたします。
- 外来患者さんには・・・
 - 外来待合など院内で読める本「院内閲覧用図書」があります。
 - その他の本はラヴェンダー室内でご覧いただけます。

お気軽にご利用ください。

患者情報室とは

- 当院の患者さんのための情報室です。
- 当院の患者さんが自分の病気について調べたり、知りたい医療情報を探すお手伝いをいたします。
- 当院の患者さんの癒しの場として入院中は本の貸出を、通院患者さんには室内閲覧サービスを提供いたします。

利用案内

- 場所 …………… 1 階 （リハビリテーション科外来向かい側）
- 開室日 …… 月、水、木、金曜日
- 開室時間 … 午前 11 時～午後 4 時

※火・土曜、日曜、祝日、年末年始は休室です。（火・土曜日は病棟巡回図書サービスのみ）

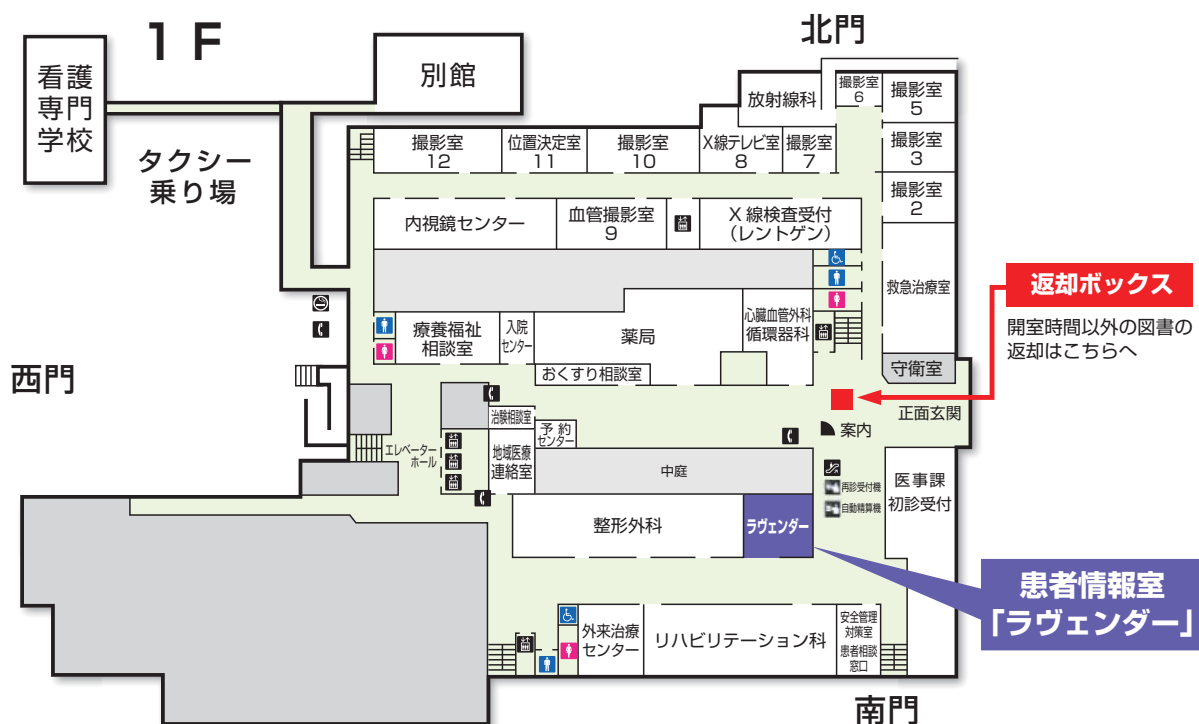
※都合により開室時間を変更、臨時休室させていただく場合がございます。

※室内は「飲食禁止」です。

ご利用にあたって

- 貸出は当院入院中の患者さんに限定します。それ以外の方は室内で閲覧ください。
- ボランティアスタッフがサポートいたします。
- ご利用ルール詳細、その他のサービスについては、ご来室時に直接お問い合わせください。
- ラヴェンダーから提供している医療情報は一般的なものです。患者さんご自身の症状に必ずしも一致した情報でないことをご理解ください。また、詳細については、担当医師にご相談されることをおすすめします。

患者情報室ラヴェンダー案内図



患者さんへのお願い

当院での 整形外科初診・再診 の取り扱いについて



地域医療連絡室

TEL (06) 6441-5451 (代)
AM 9:00 ~ PM 5:00
(土日祝日を除く)

当院では、**整形外科（リウマチ科・スポーツ医学科を含む）の初診は他医療機関からの紹介患者さん限定**とさせていただきます。一度通院していた患者さんも治療が終了して次回の予約がない患者さんは初診となり、他医療機関からの紹介が必要です。

受診ご希望の際は、先ずかかりつけ医の先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちであれば患者さんからの予約もお取りできますので下記までご連絡ください。

なお、予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診療開始がかなり遅れることがありますので、ご了承くださいませようお願いいたします。**再診も、初診と同様にすべて予約制**です。

診察室が予約の患者さんで常時ふさがっているため、紹介状なしや予約なしに受診された場合、診察室や診察医師の手配ができませんのでご了承ください。

患者相談室

オープン・ウィンド
Open Win/dより

本年1月から5月までの投書箱、「みなさまの声」に寄せられた件数は124件で、患者相談室に寄せられた相談等は全部で139件でした。
その中の苦情及びご意見の一部を紹介します。

Q 診察の予約時間から1時間以上待っても、なかなか始まらない。予約時間を守って下さい！！

A 予約時間から1時間遅れての診察となり、申し訳ございませんでした。診察時間につきましては、予約患者様の他に、緊急を要する患者様の診察などが、予定外に入ることがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

Q 2つの科を受診するので、一日がかりとなり、昼食は必ず1階の食堂を利用します。
数年来、変わりばえのないメニューなので、もう少し食堂に行くのが楽しみになる様、工夫をして下さったら嬉しいです。

A ご意見ありがとうございました。
現在、食堂の利用者は一般の方から職員等病院関係者までさまざまです。利用者のみなさまのニーズに幅広く対応するため、日替わり定食のレパートリーは60種類程度あり、毎日2種類ずつご用意しておりますので、約1ヶ月間はメニューが重複しないようにしております。今回のご意見をいただき、早速、委託業者へ定期的に新メニューを考案するよう要請しました。
また、毎月25日(休日の場合は、その前後の日)には、駅弁をご用意しておりますので、一度お試し下さい。今後も利用者のみなさまに引き続きリーズナブルな価格でご提供できるよう、工夫してまいります。

Q 自転車置場の屋根が撤去されてありません。通院の帰りに急に小雨がふってきても自転車の前かごの中が、ビショビショになり、子供の座るところも水がたまります。病院の工事に3年ぐらいときましたので、なんとか屋根を付けて下さい。6月、7月と梅雨がきますのでお願いします。自転車通院の患者です。

A 病院の建替え工事に伴い、みなさまには大変ご不便をお掛けしております。
ご指摘のように、南門の臨時駐輪場は屋根がついていないところがほとんどですが、現在でも一番奥に10台程度の駐輪可能な屋根付きスペースがございます。今後、工事が進むにつれ、臨時駐輪場の移動も予定されていることから、現在の駐輪場への屋根の設置は難しいものと考えております。
つきましては、既存の屋根付きスペースを有効活用していただきますようよろしくお願いいたします。



《重要なお知らせ》**病院敷地内 全面禁煙** 当院は病院敷地内全面禁煙です。

各種教室

マタニティクラス

問 申 大阪厚生年金病院（産婦人科病棟）
☎ 06-6441-5451（代）

- 開催日／毎月 第1、2、3水曜日、第4金曜日
- 時 間／9:30～11:30、13:30～15:30
- 場 所／当院2階 第1会議室
- 費 用／1,000円（3回分）
- 予約制

腎臓病教室

問 大阪厚生年金病院血液浄化センター
☎ 06-6441-5451（内線2667）

- 時 間／13:30～14:30
- 場 所／当院2階 第1会議室
- 費 用／無料
- 方 法／事前申込不要、直接お越しください。

※12月は休会：開催なしです。 ※内容に若干変更があるかもしれません。

開催日	テーマ	対 象	担 当
10月24日（木）	腎臓を長持ちさせる為に ①慢性腎不全とは ②日常生活で注意すること	主に慢性腎不全患者さん（保存期）	医師
11月28日（木）	慢性腎不全の食事療法	主に慢性腎不全患者さん（保存期）	栄養士
2014年 1月23日（木）	腎臓病と薬	主に慢性腎不全患者さん	薬剤師
2014年 2月27日（木）	腎臓病と検査（データの読み方）	主に慢性腎不全患者さん	検査技師
2014年 3月27日（木）	透析療法について ①血液透析の実際 ②腹膜透析の実際	主に慢性腎不全患者さん（保存期）	医師 （看護師）

レッツ！糖尿病教室

問 大阪厚生年金病院内科外来
☎ 06-6441-5451（内線2274）

- 時 間／14:00～16:00（受付は13:45から）
 - 場 所／当院2階 第1会議室
 - 費 用／無 料
 - 方 法／事前申込不要、直接お越しください。
- ※1月と8月は休講

開催日	テーマ	担 当
11月7日（木）	インスリン抵抗性って？ 合併症の検査 動脈硬化の薬	医師 検査技師 薬剤師
12月5日（木）	体調が悪いと血糖値が上がる！ シックデイはどうするの？ 年末年始・どう食べる？	医師 看護師 管理栄養士

禁煙教室

問 大阪厚生年金病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（内線2274）

- 開催日／毎月第1、3水曜日（4月の第3水曜日は休講）
- 時 間／13:00～14:00
- 場 所／看護学校1階 会議室
- ※右記アクセス図をご参照ください。
- 費 用／無 料
- 方 法／事前申込不要、直接お越しください。



※敷地内新病院建替工事のため、車両及び歩行者の出入口が変更されています。

公開講座

どなたでも
参加できます

消化器病懇話会

問 大阪厚生年金病院内科外来
☎ 06-6441-5451 (内線 2274)

- 時 間／14:00～16:00
- 場 所／当院2階 第1会議室
- 費 用／無 料
- 方 法／事前申込不要、直接お越しください。

開催日	テーマ	担 当
10月26日(土)	インターフェロン治療	伊藤部長
11月30日(土)	胃がんについて	道田部長
2014年 2月1日(土)	インターフェロン治療	内藤部長
2014年 3月8日(土)	肝硬変の管理・治療	伊藤部長

院内の公開講座

対象：医療従事者

院内の公開症例検討会

問 大阪厚生年金病院（地域医療連絡室）
☎ 06-6441-5463

名 称	日 時		場 所
乳腺疾患カンファレンス	第1・3 水曜日	17:30～19:00	2 階 第2 会議室
手の外科診療班症例検討会	第1 金曜日	19:00～21:00	2 階 第1 会議室
脳卒中カンファレンス	毎週火曜日	17:00～18:30	4 階 カンファレンス室
婦人科腫瘍合同症例検討会	第4 木曜日	17:00～18:00	2 階 第2 会議室
臨床病理検討会 (CPC)	毎月最終水曜日	17:30～18:30	看護学校視聴覚室※

院内でおこなわれる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。

恐縮ですが、開催直前までの1週間以内に地域医療連絡室（TEL 06-6441-5463）にご確認ください。

※看護学校は、左記アクセス図をご参照ください。

公開講演会

問 大阪厚生年金病院（看護部：野村）
☎ 06-6441-5451（代）

- 場 所／看護学校視聴覚室 ※看護学校は、左記アクセス図をご参照ください。
- 費 用／無 料
- 方 法／事前申込不要、直接お越しください。
- 対 象／看護師、その他医療従事者

※今後の開催予定は確定次第、当院ホームページに掲載します。（<http://www.okn.gr.jp/>）

新人看護師コアレクチャー（後期の予定）

- 認知症・高齢者看護 ● がん化学療法 ● 退院調整 ● 緩和ケア ● 摂食・嚥下看護
- 9・11・12・1・2月に計5回（時間はホームページに記載します）
- 場 所／看護学校視聴覚室 ※看護学校は、左記アクセス図をご参照ください。

新人看護職員研修 受講者募集

研修参加を希望される方は当院ホームページ「新人看護職員研修プログラム」をご覧ください。

外来診療 受付時間

8:30～11:30 (土・日・祝日を除く)

初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をしてもらってください。整形外科は紹介状と、予約なしでは受診できません。

一般病棟 面会時間

12:00～21:00 平日(月～金)

10:00～21:00 土・日・祝日

診療科等一覧

- 救急科/プライマリケア
教育研修センター
- 内 科
- 神経精神科
- 神経内科
- 循環器内科
- 小児科
- 外 科
- 乳腺・内分泌外科
- 整形外科
- リウマチ科
- スポーツ医学センター
- 形成外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼 科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科口腔外科
- 病理科
- 内視鏡センター
- 女性医師外来
- 女性がん検診
- 禁煙外来
- 集中治療部

※各科の専門など詳細は <http://www.okn.gr.jp/> でご覧になれます。

※診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします。

リウマチ科

問 整形外科外来

TEL (06) 6441-5451 (内線2109)

最新の薬物療法から脊椎・関節手術まで患者さんの状態に応じて幅広く対応しています。
(診療日) 要紹介・予約制: 初診(月曜日)、再診(月・火・木・金曜日)

集中治療部 (ICU, CCU)

大手術後、院内重症患者さんや、心筋梗塞などの心疾患の患者さんを集中的に治療する部門です。

救急科と連携して脳・心疾患などの救急患者さんを受け入れ、治療しています。

救急科

問 TEL (06) 6441-5451 (代)

脳・心血管手術を含め、広く救急患者さんを受け付け、24時間手術可能です。
小児の急患も受け付けます。

内視鏡センター

問 TEL (06) 6441-5451 (内線2191)

消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療(内視鏡的手術)を目的としています。

申 かかりつけ医の先生からFAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参ください。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。

予 FAX (06) 6441-0512 かかりつけ医の先生専用

地域医療

病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

地域医療連絡室 TEL (06) 6441-5451 (内線2158、2159)

患者さんの治療・療養が円滑に施行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

療養福祉相談室 TEL (06) 6441-5451 (内線2140)

患者さん、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅療養を支援するため、地域医療機関や訪問看護ステーション、ケアマネージャー等と連携を取り合っています。自宅退院が困難な場合は新たな療養先の紹介も行います。また、医療費の相談や福祉制度のご案内も行っています。

人間ドック・脳ドック

問 ドック相談室

TEL (06) 6441-5451 (代)

生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防に役立ち、より健康な生活をしていただくことが目的です。二日ドックと一日ドックがあります。

申 医事課 TEL (06) 6441-5451 (内線2144)

問 は問い合わせ 申 は申し込み 予 は予約先を表しています



かかりつけ医の先生専用 診療・検査予約先

患者さんからのFAX お申し込みはできません。患者さんはかかりつけ医の先生を通してご予約ください。

地域医療連絡室(診察予約) (受付時間 8:30～19:30)

FAX (06) 6441-0512 TEL (06) 6441-5463(直通)

予約センター(検査予約) (受付時間 8:30～17:00)

FAX (06) 6459-4599 TEL (06) 6441-5451(内線2153)

NICU(新生児集中治療室) 問 NICU当直医

TEL (06) 6441-5451 (代)

24時間体制で、新生児の集中治療を行っています。他医療機関からの母体搬送や、新生児搬送入院にも対応し、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

産科オープンシステム かかりつけ医の先生専用

地域診療所・助産所のシステム登録医(かかりつけ医)と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

女性医師外来 問 医事課 TEL (06) 6441-5451 (内線2161)

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。

(診察日) 毎週水曜日(受付時間 8:30～11:30)

(診療科) 内科、産婦人科、小児科

(受付窓口) 医事課初診窓口(①番窓口)

なお、女性医師の出張・異動等により、女性医師外来を休診している場合がありますので、ご了承ください。

申 当外来をご希望の女性患者さんは、医事課受付でその旨をお申し付けください。

乳がん検診 問 乳腺・内分泌外科外来

TEL (06) 6441-5451 (内線2271)

乳がんの早期発見にお役立てください。

(検診日) 毎月第4水曜日の午後1:00と3:00、

毎週木曜日の午後4:00

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センターTEL (06) 6441-5451 (内線2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 午後2:00～5:00)

女性がん検診 問 産婦人科外来 TEL (06) 6441-5451 (内線2279)

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です

(検診日) 毎週月曜日 午後3:30～

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センターTEL (06) 6441-5451 (内線2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 午後2:00～5:00)



交通のご案内

- JR東西線
「新福島駅」下車(出口③)、徒歩約5分
- 大阪環状線
「福島駅」下車、徒歩約10分
- 阪神電車
「福島駅」下車、徒歩約10分
- 京阪中之島線
「中之島駅」下車(出口①)、徒歩約5分
- 地下鉄千日前線
「玉川駅」下車、徒歩約10分
- 市バス
大阪駅前 55 → 「堂島大橋北詰」下車すぐ
大阪駅前 56 → 「福島西通」下車、徒歩5分
- タクシー
「大阪駅」より約10分

※敷地内新病院建替工事のため、出入口が変更されています。詳細は、本誌18頁をご覧ください。

大阪府「男ういきいき・元気宣言」登録事業者／「働きやすい病院」認定病院(第1号)
／「つがい子育て支援大賞受賞」女性のチャレンジ支援賞(内閣府)受賞



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院/大阪府がん診療拠点病院

大阪厚生年金病院 信頼に応える医療

〒553-0003 大阪市福島区福島 4-2-78

TEL (06) 6441-5451 (代表) FAX (06) 6445-8900

<http://www.okn.gr.jp/> E-mail: hs_oosaka@kjp.or.jp

この広報誌に対するご意見・ご要望は郵送かEメールで広報誌委員会宛まで